

2012年8月23日

～「ペットの防災対策意識調査」～

「知らない」飼い主が 8割以上！！
自治体によって避難所の規制があり、
ペットとの同行避難が不可能な場合も。

T & D保険グループのペット&ファミリー少額短期保険株式会社(東京都文京区、代表取締役社長：日下部 明)は、9月1日の『防災の日』にちなんで、ペットを飼っている20～70代の男女1,230人を対象に、『ペットの防災対策意識調査』(インターネット調査)を実施しました。

『各自治体が指定する避難所はペットと同行避難できるかご存知ですか?』と質問をしたところ8割以上(84.3%)の飼い主が「知らない」と回答しており、災害時における避難所等の規制に対してほとんどの飼い主が知らずにいるという驚きの結果に。また、災害時のペットの預け先に関しても「家族や親戚」(26.9%)、「ペットホテルや動物病院」(18.0%)などの意見があるものの、「わからない」(43.7%)と回答している方が5割近くいることから、飼い主自身が災害時の行動に対して迷いを持つと共に、正確な情報が不足しているということが分かりました。

更に、『ペットの防災に関して不安なことはありますか?』という質問に対しては、「とても神経質な子(犬)なので、地震が起きた時にパニックを起こさないかいつも心配です」や「我が家の犬は老犬のため、自分で歩くことが困難です。避難をする際、自分が抱えて一緒に避難できるかどうか一番の悩みです」など災害が起きた瞬間の対応について不安を感じている飼い主もいれば、「一緒に暮らしている私達にとってペットは家族なのですが、他人にとってはただの犬猫でしかありません。避難所で邪魔だと思われるのでは...」や「避難後の環境の変化や食事の変化により、ペットの体調が悪くなった時、どうしたらよいのでしょうか」など、災害後の生活について不安を抱えている方も多くいることがうかがえます。

ペットは災害時に人間以上に予測できない行動をとることが考えられます。大切なのは、日常から災害時のことを想定して対策を行うことです。9月1日の『防災の日』をひとつのきっかけに、飼い主自身が正確な情報をしっかりと得て、いつ災害が起きてもあせらずに安心して避難ができるよう事前の準備をこころがけていきましょう。

調査概要

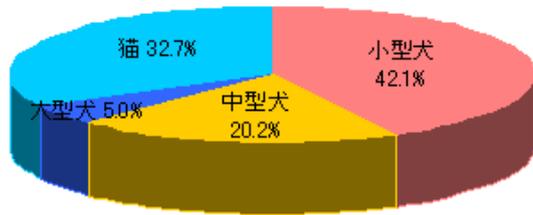
調査対象 : 全国の20～70代の男女 (犬または猫を飼っている方)

有効回答数 : 1,230サンプル (男性・817サンプル、女性・413サンプル)

調査方法 : インターネットリサーチ

調査期間 : 2012年8月10日(金)～2012年8月12日(日)

調査結果概要



飼っているペットの種類



居住エリア区分

各自治体が指定する避難所はペットと同行避難できるかご存知ですか？

回答結果	飼っているペットの種類		全体平均
	犬	猫	
知っている	20.0%	6.7%	15.7%
知らない	80.0%	93.3%	84.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

8割以上（84.3%）の飼い主が「知らない」と回答をしており、災害時における各自治体の避難所等の規制に対してほとんどの飼い主が知らずにいるという驚きの結果に。

災害時にペットを預けなければならない場合、どこに預けますか？

回答結果	飼っているペットの種類		全体平均
	犬	猫	
ペットホテルや動物病院	19.0%	15.9%	18.0%
家族や親戚	29.5%	21.6%	26.9%
知人や友人	7.7%	8.7%	8.0%
その他	3.7%	2.5%	3.3%
わからない	40.1%	51.2%	43.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

「家族や親戚」（26.9%）、「ペットホテルや動物病院」（18.0%）などの意見があるものの、「わからない」（43.7%）と回答している方が最も多い回答。ペットを預けることに対して抵抗があることがうかがえます。

ペットのための防災対策をしていますか？

回答結果	居住地域		全体平均
	関東・東北	その他	
対策をしている	20.1%	8.1%	13.2%
対策をしていない	79.9%	91.9%	86.8%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

全体の8割以上（86.8%）の方が防災対策をしていないとの結果に。逆に対策をしている方を居住地域で比較した場合、「その他」の地域より「関東・東北」にお住まいの飼い主の方が対策を講じる意識が高く、昨年の震災の影響が見受けられます。

ペットの防災対策として日ごろ行っていることはありますか？（複数回答）

回答結果	居住地域		全体平均
	関東・東北	その他	
ペットの避難グッズをまとめている	58.1%	35.1%	50.0%
他人や他のペットに慣れさせている	11.4%	12.3%	11.7%
ケージやキャリーケースに慣れさせている	33.3%	40.4%	35.8%
預かってくれる場所や友人の確保	15.2%	17.5%	16.0%
迷子札やマイクロチップの装着	16.2%	28.1%	20.4%
ペットと一緒に寝るようにしている	27.6%	26.3%	27.2%
ペットと一緒に避難訓練	10.5%	3.5%	8.0%
その他	7.6%	8.8%	8.0%

全体の5割（50.0%）の方が防災対策として「ペットの避難グッズをまとめている」と回答。

特に「関東・東北」地域の方は、58.1%の方がグッズの準備をしており、「その他」の地域に比べて防災対策への意識の高さがうかがえます。

ペットの防災対策として準備しているグッズはありますか？（複数回答）

回答結果	居住地域		全体平均
	関東・東北	その他	
ケージ・キャリーケース	61.0%	61.4%	61.1%
フード・飲料水	68.6%	61.4%	66.0%
ペット用救急セット	18.1%	21.1%	19.1%
常備薬	18.1%	19.3%	18.5%
トイレグッズ	49.5%	42.1%	46.9%
ペットの写真	14.3%	19.3%	16.0%
迷子札	25.7%	28.1%	26.5%
ペットの飼育メモ	3.8%	5.3%	4.3%
その他	6.7%	8.8%	7.4%

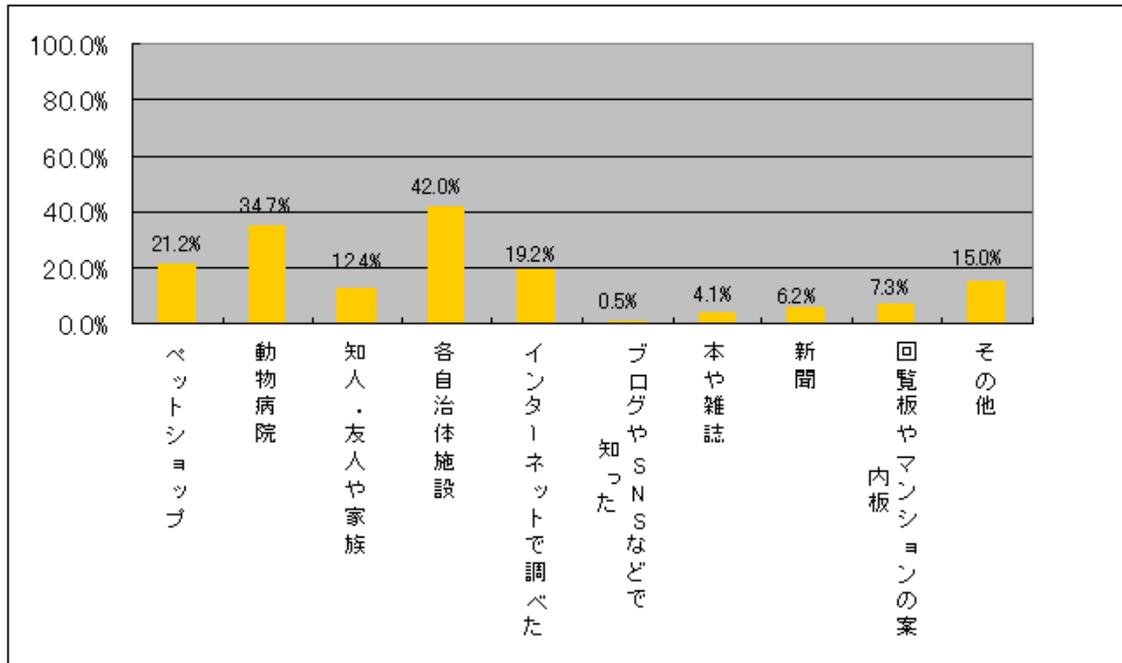
防災グッズとして欠かせない「フード・飲料水」（66.0%）、「ケージ・キャリーケース」（61.1%）に回答が集中。トイレグッズ（46.9%）も必要なグッズとして準備されている飼い主の方が多いようです。

ペットの防災に関して不安なことはありますか？（フリーアンサー）

- とても神経質な子(犬)なので、地震が起きた時にパニックを起こさないかいつも心配です。
- 我が家の犬は老犬のため、自分で歩くことが困難です。避難をする際、自分が抱えて一緒に避難できるかどうか一番の悩みです。
- 一緒に暮らしている私達にとってペットは家族なのですが、他人にとってはただの犬猫でしかありません。避難所で邪魔だと思われるのでは…。
- 避難後の環境の変化や食事の変化により、ペットの体調が悪くなった時、どうしたらよいのでしょうか。
- 一番心配なのは、留守中に地震などの災害が起きってしまうこと。人間は救出してくれるかもしれないけど、ペットも助けてくれるのでしょうか。
- 大事な家族なのにいざという時は置いて逃げなければ…という判断をしなくてはいけない場面を想像すると怖くなります。私は自分が助かる為に愛犬だけ置いて避難なんて考えられない。
- うちのネコ達は、家族以外の人に慣れていないので、いざという時どうしたらいいのか…。
- ペットと共に避難できる場所や対策を各自治体をもっと積極的にアナウンスして欲しい。
- 今回のアンケートを受けて、改めて何も知らないことが分かりました。今後のために色々調べなくてはいいと思います。
- 災害後にペットと離ればなれになってしまうと思うと不安になります。保護してもらえるように迷子札をつけるようにします。

災害時の避難所等の規制に関してどこで情報を得ましたか？（複数回答）

避難所にペットと同行避難できるかを「知っている」と答えた方の回答結果



災害時の避難所に関するの情報源で一番多かったのが「各自治体施設」(42.0%)。続いて「動物病院」(34.7%)、「ペットショップ」(21.2%)という結果に。ペットと同行避難が可能な施設は、各自治体の防災計画によって変わってきますので9月1日の『防災の日』をひとつのきっかけに、飼い主自身が正確な情報をしっかりと得て、いつ災害が起きてもおせらずに安心して避難ができるよう事前の準備をこころがけていきましょう。

本調査結果に関するお問い合わせ先
 ペット&ファミリー少額短期保険株式会社 経営企画部 佐藤
 電話：03-5844-1120
 URL：<http://www.petfamilyins.co.jp/>